

Port of Hachinohe

No. 19
Jul 2006

---Maritime & Trade Report---

●今号の主な記事

- 八戸セミナー2006開催
- 大連経済視察レポート
- 八戸港に就航するRO-RO船
- 八戸市海外経済協力員レポート
- 中国ビジネスセミナー・個別相談会のご案内
- 青森県輸入住宅促進協議会ニュースレター

八戸セミナー2006開催

八戸港国際物流拠点化推進協議会では、7月4日に経団連会館（東京都大手町）において、八戸市及び八戸市企業誘致促進協議会との共催で、「八戸セミナー2006～前進する北東北の産業中核都市 はちのへ～」を開催しました。

セミナーでは、小林眞八戸市長が、八戸市の優位性を「八戸港」、「工業集積」、「優遇制度」、「環境・エネルギー」、「人材」という5つのキーワードから紹介し、八戸市への進出を呼びかけました。

また、青森県の港湾担当者が、八戸港におけるコンテナ航路や各種補助金制度など八戸港利用のメリットを紹介し、利用拡大を呼びかけました。

続いて、キャノンプレジジョン㈱代表取締役社長の吉川實氏と北海道国際航空㈱代表取締役副社長の小林茂氏から、それぞれご講演をいただきました。

吉川氏からは、「八戸港に対する期待」と題し、弘前市に工場を持つ同社が、今年3月から、欧州向けに八戸-東京間の内航フィーダー航路を利用することにより物流コスト及び二酸化炭素排出量の削減が図られたことや、現在、仙台塩釜港から輸出している北米向けの製品を、将来的には、本州で北米に最も近い八戸港から輸出できるよう期待しているとのお話をいただきました。

また、小林氏からは、「八戸都市圏の特色と将来展望」～経済規模の拡大が予想される地域「はちのへ」～と題して、地域特性や人材、技術力から八戸都市圏が更に飛躍する可能性があるとのお話をいただきました。

セミナーには、約300人の皆様にご出席をいただき、盛会裏に終了しました。



八戸市長：小林眞



講師：キャノンプレジジョン㈱代表取締役社長
吉川實氏



講師：北海道国際航空㈱代表取締役副社長
小林茂氏



満員のセミナー会場

「大連経済視察レポート」

八戸市産業政策課 主査 小笠原了

5月30日から6月3日の日程で「第4回青森・大連友好の翼（大連経済視察コース）」に参加しました。

大連市は、中国東北部にある遼寧省の遼東半島南端に位置し、緯度は宮城県と同程度、青森県の約1.4倍の面積(12,574km²)に約600万人が住む大都市で、経済発展の牽引役ともいえる4つの国家級対外開放区（開発区、保税區、ハイテクパーク、金石灘国家観光リゾート区）を有しています。

また、不凍の良港である大連港を持つ、中国東北部最大の港湾都市でもあります。

2005年における大連港の年間貨物取扱量は約1.2億トン、年間コンテナ取扱量は約265万TEUで、前年に対する伸び率は20%超とのことで、40を超える万トン級バースや30万トン級原油埠頭が既に整備済みであり、更なる港湾機能充実のための大規模プロジェクトも進行中で、その規模の大きさには圧倒されるばかりでした。

八戸港においては、国際コンテナ定期航路が2005年5月から大連港への直接寄港を行っております。その取扱量も順調に推移しており、今後とも、更なる国際物流面の連携強化等による活発な経済交流が期待されます。



青森・大連懇談会での西八戸市収入役挨拶

滞在中は、大連日報社長表敬訪問、第11回中国国際家具及び木工機械展覧会、青森県観光説明会、青森・大連懇談会、大連市長表敬訪問、青森県・大連市友好経済交流委員

会、旅順口区視察、大連市内日系企業訪問など、視察・研修を行って参りました。

地元旅行エージェンツ、航空会社、マスコミ、地元スーパー・流通関係者、大連市人民政府関係者を招いて開催された観光説明会及び青森・大連懇談会では、青森県の豊かな自然や、ねぶた・三社大祭などイベントが満載の観光コースの紹介と、青森りんごを中心とした青森県産品のPR等が行われました。活発な意見交換が交わされ、青森県との交流意識の高まりを感じました。

八戸港国際物流拠点化推進協議会 平成18年度定例総会開催

八戸港国際物流拠点化推進協議会では、4月27日、平成18年度定例総会を八戸パークホテルで開催し、本年度の事業計画として、海外ポートセールス（天津、大連）、国内ポートセミナー（東京、盛岡）、各種補助金制度、各種PR活動等の実施について決定しました。

八戸港の利用拡大と貿易の促進を目指して積極的に活動して参ります。



協議会会長 八戸市長 小林眞

補助金制度のお知らせ

八戸港国際物流拠点化推進協議会では、八戸港の利用促進のため、次の補助金制度を実施しています。是非、御社の物流コストの削減にご活用ください。

●コンテナ輸送トライアル補助金制度

この制度は、新たに八戸港の外貿コンテナ定期航路を利用する場合、船荷証券（B/L）1件につき5万円を補助するものです。

補助金対象者は、国内に1年以上事業所を有し、平成15年4月1日以降八戸港の外貿コンテナ定期航路を利用していない企業（若しくは個人経営者）で、3回まで利用できます。

●青果物等貿易促進補助金制度（くん蒸補助金制度）

この制度は、植物検疫の結果、くん蒸が必要となった場合、「八戸港くん蒸上屋」1室1回の利用につき5万円を補助するものです。

これまでにタマネギ、牧草、大豆、原木等の輸入に利用されています。

※なお、両補助金とも予算の範囲内での補助となりますので、件数に限りがございます。お早めにお申し込みください。

お問い合わせ先

八戸市産業振興部産業政策課内
八戸港国際物流拠点化推進協議会
TEL：0178-43-2111（内線308、609）

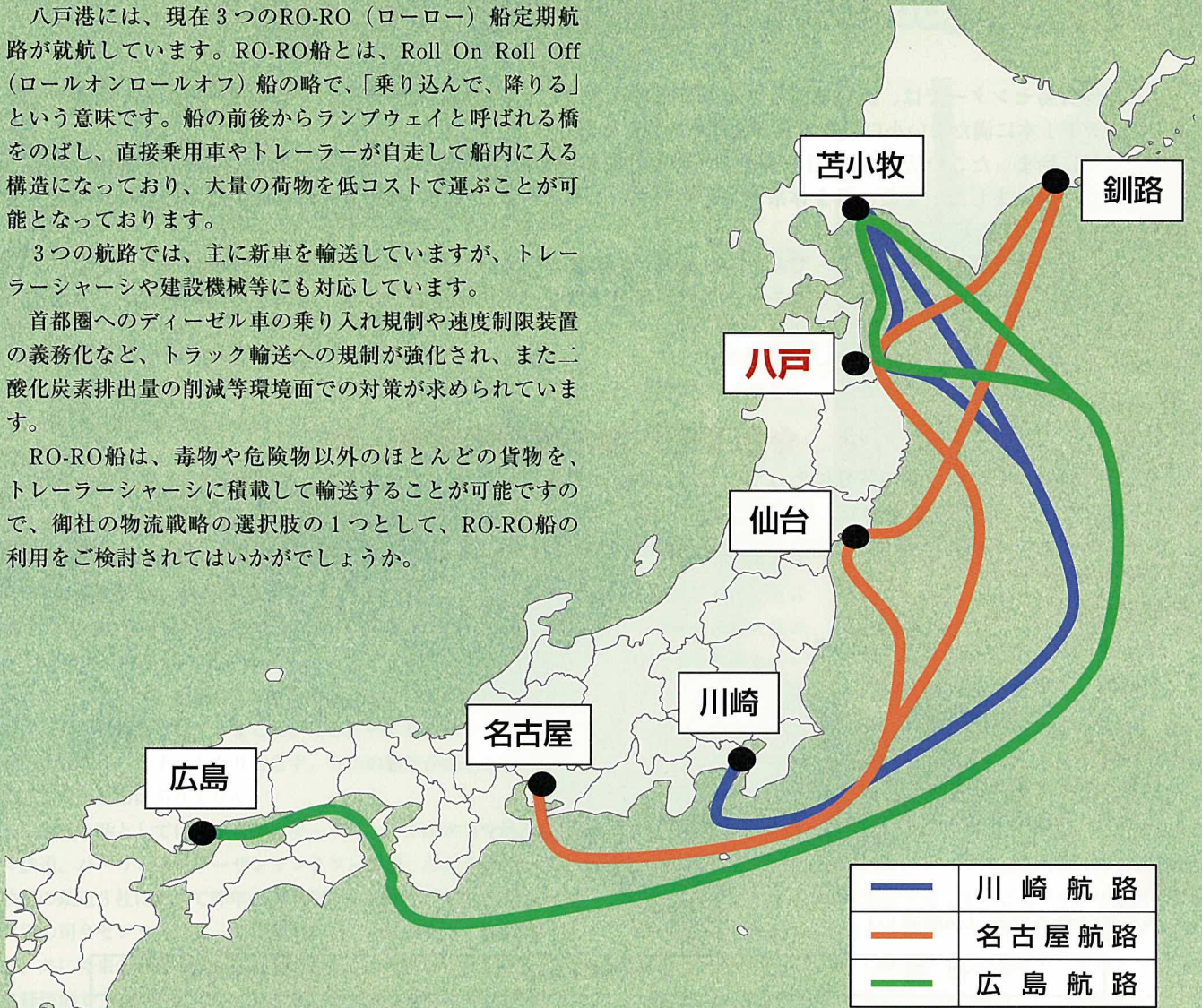
八戸港に就航するRO-RO（ローロー）船

八戸港には、現在3つのRO-RO（ローロー）船定期航路が就航しています。RO-RO船とは、Roll On Roll Off（ロールオンロールオフ）船の略で、「乗り込んで、降りる」という意味です。船の前後からランプウェイと呼ばれる橋をのぼり、直接乗用車やトレーラーが自走して船内に入る構造になっており、大量の荷物を低コストで運ぶことが可能となっております。

3つの航路では、主に新車を輸送していますが、トレーラーシャーシや建設機械等にも対応しています。

首都圏へのディーゼル車の乗り入れ規制や速度制限装置の義務化など、トラック輸送への規制が強化され、また二酸化炭素排出量の削減等環境面での対策が求められています。

RO-RO船は、毒物や危険物以外のほとんどの貨物を、トレーラーシャーシに積載して輸送することが可能ですので、御社の物流戦略の選択肢の1つとして、RO-RO船の利用をご検討されてはいかがでしょうか。



航路	運航会社	寄港頻度	航路	積載能力
川崎航路	プリンス海運(株)	週2便 (火・金曜日)	(火曜日)川崎港→苫小牧港→八戸港→川崎港 (金曜日)川崎港→八戸港→川崎港	車両 250台 トレーラーシャーシ 65本
名古屋航路	(株)フジトランスコーポレーション	4日に1便	名古屋港→仙台港→釧路港→八戸港→名古屋港	車両 960台 トレーラーシャーシ 100本
広島航路	マロックス(株)	週1便 (月曜日)	広島港→八戸港→苫小牧港→広島港	車両 380台 トレーラーシャーシ 35本



ランプウェイを自走する自動車



牽引車(ヘッド)とトレーラーシャーシ



積載された建設機械とトレーラーシャーシ

八戸港コンテナ共同輸送事業について (お知らせ)

～八戸港CSS (Container Support Service) 事業～

(株)八戸港貿易センターでは、海外取引をされる荷主の皆様にとって利用しやすいコンテナ輸送サービスを提供するため、コンテナ1本に満たない小口貨物の共同輸送を実施しております。

平成12年に始まったこの活動も6年目を迎え、今年度は従来の北米便のほかに、経済発展著しい中国・上海便を不定期ながら新たに加えました。また、料金体系もわかりやすいように一新し、別の利用者をご紹介いただいた場合の割引制度を新設いたしました。

これから新規に海外製品を取り扱ってみたい、海外からの急な引き合いにスポット対応しなければならないなど、国際小包では対応できない、けれどもコンテナを満たすほどではないという場合、是非とも当社の共同輸送をご利用ください。

2006年度は以下の内容にて実施いたします。

◆◆◆2006年度の実施内容◆◆◆

当社の共同輸送は、利用者の皆様にとって、利用しやすい料金設定となっております。今年度も、1荷主でもお申込がある場合には実施いたしますので、皆様のご利用をお待ちいたしております。

なお、期日までにお申込(荷物)が無い場合は、中止する場合がありますので、ご了承ください。

◎ 実施航路

北米便 (シアトル、バンクーバー港)
中国便 (上海港)

◎ 輸送品目

建材・家具、機械部品等
※保冷・各種検査等を要する品目、危険物等は除く。

◎ 料金

共同輸送基本料金 (倉庫渡し)

体積	北米便基本単価	中国便基本単価
1m ³ ～5m ³ 未満	30,000円/m ³	27,000円/m ³
5m ³ ～10m ³ 未満	27,500円/m ³	24,750円/m ³
10m ³ 以上	25,000円/m ³	22,000円/m ³

※ 体積の小数点以下は、切り上げ致します。 例：1.2m³→2m³

※ 料金に含まれるもの：海上運賃、海上保険料、国内通関料、入出庫保管料、ショートドレイ料

※ 料金に含まれないもの：輸入消費税、関税、その他諸費用 (海外集荷場所までの配達料、通関後の国内配達料、税関検査料等)

費用合計 = 倉庫渡し料金(体積×基本料金) + 輸入消費税 + 関税(発生した場合) + その他諸費用

◆◆◆共同輸送事業に関する情報・ご案内◆◆◆

共同輸送に関するスケジュールや貿易関連の最新情報を、FAXまたはE-mailでご案内いたしておりますので、ご希望の方は下記のお問合せ先までご連絡ください。

また、貿易に関する質問や、貿易実務の支援活動等も承っておりますので、お気軽にご連絡、ご相談いただければ幸いです。

お問い合わせ先

(株)八戸港貿易センター

TEL.0178-72-1505 FAX.0178-72-1503

E-mail:mail@hptc.co.jp

平成18年度開催予定の青森県産農林水産物等の海外輸出促進事業

青森県では「攻めの農林水産業」の一環として、特に近年経済成長の著しいアジア諸国へ県産品の輸出を促進するため、関係団体と連携し、下記の事業を実施します。皆様方には、その都度ご案内しますので、積極的なご参画をお願いします。

県では、今後とも、各種情報の収集、ビジネスチャンスの創出等に努めて参ります。

期間（すべて予定）	分類	項目	場所
7月下旬	商談会	上海石橋水産バイヤー招聘セミナー及び商談会	青森市
9月中旬	商談会	「青森ジャパンフェアinバンコク」商談会	青森市
9月下旬～10月上旬	物産展	「東北味の夏祭りin明治屋シンガポール」	シンガポール
10月上旬	商談会	「東南アジア日系百貨店バイヤー招聘 海外販路拡大商談会」	秋田市内
10月下旬	商談会	「中国バイヤー招聘商談会」	青森市
11月16日～27日	物産展	「青森の物産と日本のうまいもの・伝統工芸展」	台湾（高雄）
1月中旬	商談会	「青森ブランド商談会in上海」及び市場調査	上海、北京、広東
1月中旬	プロモーション	「青森りんご東アジア市場輸出プロモーション」	上海、北京
1月下旬～2月上旬	物産展	「青森ジャパンフェアinバンコク」	タイ（バンコク）
1月下旬～2月上旬	物産展	「青森ジャパンフェアin台北」	台湾（台北）
1月下旬～2月上旬	物産展	「青森ジャパンフェアin香港」	香港
1月下旬～2月上旬	物産展	「北海道&みちのくフェアin伊勢丹シンガポール」	シンガポール



平成17年度タイ物産展



平成17年度上海バイヤー招聘商談会

お問い合わせ先

青森県庁農林水産部
総合販売戦略課
宣伝・販売グループ
TEL：017-734-9607
FAX：017-734-8158

「白銀ボートパーク」が供用開始

4月27日、白銀ボートパーク（八戸市築港街一丁目）が供用開始されました。

白銀ボートパークは、八戸港内におけるプレジャーボート等の放置防止対策として、平成15年度から青森県が総事業費約2億円で、浮き桟橋、斜路、陸上保管施設、駐車場、照明灯の整備を行いました。

これまで八戸港には、ヨットやプレジャーボート等を係留する民間及び公共マリーナの施設が無く、護岸等の係留施設以外の場所に係留されており、貨物船や漁船との輻輳等、航行上の安全に支障となるため、早急な改善が望まれてきました。



白銀ボートパークの様子

このボートパークの完成により、放置艇の適正な収容とマリンスポーツの充実に大きく寄与するものと期待を寄せています。

収容可能な隻数は、海上の浮き桟橋には44隻、陸上には20隻となっており、浮き桟橋に係留できる船の長さは8mまでとなっています。

また、陸上に保管する場合は、利用者が自ら隣接する斜路を利用して収容することになります。

利用料金は、船の長さに応じて異なりますが、海上係留は月額1,470円/m、陸上保管は1,354円/mとなっています。

※「ボートパーク」と「マリーナ」の違い

「ボートパーク」は、放置艇の収容を目的としていることから、係留施設や駐車場等の必要最低限の機能を有した簡易な施設です。

「マリーナ」は、海洋レクリエーションの拠点であり、係留施設に加え利用者の利便性を高めるクラブハウスや修理施設を有しています。

お問い合わせ先

青森県三八地域県民局 八戸港管理所管理課
TEL：0178-28-2105

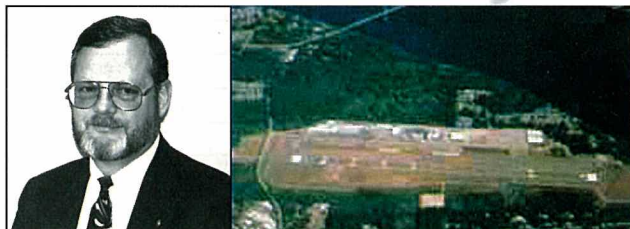
八戸市海外経済協力員レポート

八戸市は、2006年7月現在、海外在住（天津、香港、シンガポール、マニラ、タコマ、ワシントンD.C）の6名に「八戸市海外経済協力員」を委嘱し、現地の出来事や経済状況をレポートしていただいております。

また、八戸地域の企業等が協力員の在住都市を訪問する際には、協力員に現地事情の説明等をしていただけることになっておりますので、ご希望の方は八戸市産業振興部産業政策課（TEL0178-43-2111 内線308）までご連絡ください。

REPORT 1

タコマレポート



タコマ・ピアスカウンティ商業会議所
(米国ワシントン州) マネージャー
ゲアリー・ブラケット さん

タコマナローズ空港

タコマピアス郡は2005年、1年を通して好景気でした。2006年も多少ゆるやかではあるものの成長の年であり、更なる経済効果をもたらすであろうと予測されています。ピアス郡経済指標及び2006年予測につきましては、

http://www.tacomachamber.org/chamberprograms/BusinessTrade/pdf/PCEI_Report.pdf

からダウンロードできます。

昨年の夏、ピアス郡では、ピアス郡経済開発委員会が440万ドル投じるビジネス戦略を5ヵ年計画で始めました。この官民連携の戦略は、サウスサウンド地区におけるビジネス発展に合わせ、この地区に雇用を創出することでしょう。さらに、タコマ・ピアスカウンティ商業会議所はビジネスを支援してきましたが、合衆国商業会議所により、5つ星会議所に認定され、アメリカ国内にある20ヶ所の認定会議所の1つとなりました。

ワシントン州では、経済の回復・景気拡大が州全体に広がっています。その証拠に州では、税金が2、3ヶ月前の経済学者の予測を4,500万ドル上回る予定です。過熱する住宅市場や建設ラッシュによるものです。伸びつづける航空宇宙産業は、シアトルのエバレット地区に集約され、シアトルが州の雇用拡大をリードしています。

タコマピアス郡は成長を続け、何ヶ月にもわたって州をリードしています。例えば、トーレコンポジットアメリカは2,000万ドルをかけた工場が完成間近で、従業員の採用を始めました。トーレの工場では、カーボンファイバーテープを製造しており、隣接するボーイングが、777や787機の主要部分の組立てに使用しています。トーレでは、従来の180人のスタッフに加え、100人を新たに雇用する予定です。

同様、ラッセルインヴェストメントグループは、マルチマネージャー投資の世界的リーダーで、122人を新たに雇用し、地元雇用が969人となりました。また、設備投資により40の新しい役職を創出しました。タコマピアス郡の経済は、山や谷がなく、地方経済にみられる不安定な経済に比べ、しっかりと安定したものです。兵士の数は、公式の雇用者数に数えられていないのですが、彼らの滞在は経済効果を創出しています。そのため、フォートルイス基地における5,400人の兵士とその扶養家族の増員は、十分な景気浮揚策でした。フォートルイス基地ではさらに数千人の兵士増を見込んでいます。

タコマ港は200人ほどしか職員はおりませんが、過去1年、港湾関連事業において310人の雇用を創出し、トータルで関連事業において6,000人以上、その他非関連事業において43,000人の雇用を創出しております。州全体ではタコマ港関係の雇用は、113,000人です。

クリスティン・グレゴア州知事により署名されたHeavy Haul Industrial Corridor (重量貨物輸送産業ルート)法案の直接の受益者はタコマ港湾局になります。トランスロード（詰め替え）過程としては、貨物が鉄道で到着すると、コンテナに詰められ船までトラック輸送されます。その際にトラック車両の重量が法律で定める重量規制を超えることがあります。（この法案は）そうした貨物の道路通行を許可するものです。

また、タコマ港湾局では、戦略的焦点は海運積替えターミナル管理であるとしています。タコマ市は、タコマ港湾局がタコマナローズ空港を引き受けるよう提案しています。ところが、空港がかなりの赤字で、港



5つ星会議所の認定証

湾局としてはそのような不採算ビジネスへは参入したくはないようです。

海運業は好況です。タコマ港湾局の2005年の歳入は7,600万ドルで収益は1,670万ドルと落ち込んでいます。これは、ターミナルが建設中であったためです。2006年の歳入は9,070万ドルで収益は1,830万ドルになると予測されています。

エバーグリーンマリン、ハッピーマリントロイドトリエステイノは、2005年1月にピアス郡ターミナルを使いはじめました。ハスキーターミナルは2005年7月からKライン向けにサービスを提供しています。港は成長めざましい港として、上半期、シアトル、ロングビーチ、オークランドに続き第4位に位置付けられました。オリンピックターミナルは陽明海運の新しいターミナルとして2005年10月にオープンしました。

港の基本建設予算は向こう5年間で3億3,920万ドルと見込まれ、内1億6,300万ドルがターミナルに、367万ドルが環境研究費、3,400万ドルが鉄道拡張費、710万ドルがセキュリティ強化に使われます。他にもまだ決定していない事業がいくつかあります。

特筆すべきは、港湾局がブレア水路のカイザーアルミ工場跡地の約130エーカーを所有し、隣接する150エーカーをピュアラップ族が所有しているということです。両者は1年以上もかけて、大規模なターミナルの可能性について調査をしてきました。このターミナルはロスアンゼルス以北で最大のターミナルとなり得ます。5つの船社が関心を示しているもののまだ申し出はありません。

さらに間近な話としては、コミュニケーションハブがタコマ港湾局とタコマ鉄道、パーリントンノーザンサンタフェ鉄道、ユニオンパシフィック鉄道の鉄道3社によって今年の夏、前倒しでオープンしたことです。この共用の司令センターによって、配車がスムーズになり、緊急時に対応でき、共に将来の計画を立てることができるようになりました。

他に経済面で主なこととして、軍事施設の地方立地は嬉しい経済ニュースです。先に述べたような雇用増加に加え、フォートルイス基地もマッコード空軍基地も連邦政府の基地の統廃合を最小限の人員削減で行なうことができました。具体的な数字については、新統合ルイスマッコード基地が現在行なっている人事管理調査で確定することでしょう。その間にフォートルイスでは1億5,000万ドル以上を建設費として受けることとなり、1億ドルを兵舎設営に、5,330万ドルが軍事・訓練施設に使われます。

全体としては、不動産評価額の平均が今年13.4%も増加しました。タコマセントラル商業地区においては平均評価額が28.5%増と突出しています。タコマでは空き地が少なく、空き地は（評価額が）77.8%増と最大の増加率です。タコマにあるヒルトップ商業地区では、市が、54万ドルをかけた再開発プロジェクトに加え、他市の87万ドルの不動産購入選択権を引き継ぎます。

ワシントン大学タコマ校では、1、2年生のクラスを始めることになり、学内の住宅計画に着手しました。コート17と呼ばれる1,710万ドルのプロジェクトで、5階建て129戸のアパートと3階建て309台分の駐車場があります。ワシントン大学には現在3、4年生と院生で2,100人います。

改装したタコマドームホテルがオーナーも変え350万ドルを投じて大変身をしたとげ、オープン予定です。レーニア国立公園にあるパラダイスインも昨年10月から2年間休館し1,600万ドルを投じて改装されます。

ピアス郡の周辺では、東側がどんどん発展し続けています。エースハードウェアはアジア、主に中国からの輸入品の物流センターをオープンします。これは、

パシフィックコーストパークにある20エーカーの土地開発の一部です。

また、パナットーニディベロップメントがレイクウッドに211,000平方フィート、サマーセントラルに427,000平方フィートの建物の建設を始めました。同様、シュナイツァーノースウェストでは、ピュアラップ地区にあるパレーアベニュービジネスパークの24エーカーの土地に442,000平方フィート、5つの建物を建設予定です。ピュアラップ地区のビジネス街では、有権者から承認された990万ドルの図書館、220万ドルのパイオニアパークパビリオンが、1,400万ドルの高齢者センターとコンドミニアム建設事業に続く、12万ドルの市の複合施設として計画されています。

住宅購入者らは、コンドミニアムの購入を検討し始めました。ピアス郡におけるコンドミニアムの契約数は66%も上がり、ピアス郡周辺で24件、そのうちタコマ単独では12件のコンドミニアムの建設プロジェクトがあります。連邦住宅企業監督署の最近の調査では、住宅の中間価格がおおよそ253,500ドルに上がったのに対し、コンドミニアムは183,000ドルで、販売価格の上昇において国内で63位の都市となります。

住宅開発業者はルーストン市の4,000万ドルをかけた60軒のコンドミニアムの団地を完成させました。ルーストンとタコマはアサルコの売りに出されていた土地を共有しています。5,000フィートの海岸沿いにある67エーカーのウォーターフロントの土地は、2,800万ドル～3,200万ドルかかるといわれている環境浄化を終えるところでは、近隣のパーシャルビュー（海岸が一部望める）住宅地は30万ドルで売られています。ピアス郡の住宅地の価格は今年も10%以上は上昇するであろうと予測されています。



会議所の役員会で認定の報告をするデイビッド・グレイビル社長兼CEO

八戸港の貿易概況報告 (2006年1月～5月)

039-1162 青森県八戸市豊洲3-9 八戸港貿易センター3階
日本貿易振興機構 (JETRO) 八戸情報デスク TEL:0178-72-1850 FAX:0178-72-1503

<概況>

輸出額では、一般機械・魚介類等の増加も見られたが、紙製品・飼料等の不調もあり前年度よりやや減少(前年比97.4%)。輸入額では、亜鉛鉱・カオリン・大豆粕等の好調により増加傾向にある(前年比112.9%)。輸出主要国は台湾・韓国・香港、輸入主要国はアメリカ・オーストラリア・中国などが挙げられる。また、コンテナ貨物通関本数は、東南アジア航路・韓国航路を中心に輸出、輸入ともに前年比90.5%とやや不調。

■平成18年1月～5月の貿易額 (単位：千円)

※資料：八戸税関支署発表の貿易統計から抜粋

輸 出

品名	単位	今年累計		前年対比 累計%	
		数量	価格	数量	価格
船 舶	NO	1	3,745,000	25.0%	106.3%
フェロニッケル	MT	50,440	15,416,679	97.0%	107.1%
有機化学品	KG	790,550	243,360	96.7%	104.2%
紙 製 品	MT	927	83,141	25.7%	15.6%
一 般 機 械	MT	1,564	1,994,966	126.7%	574.8%
鉄 鋼 製 品	MT	1,689	333,556	25.4%	64.1%
飼 料	MT	1,578	89,578	40.6%	44.6%
魚 介 類	MT	4,934	528,825	195.7%	148.3%
鉄 鋼 く ず	MT	16,657,710	488,127	78.9%	87.1%
電 気 機 器			7,399,358		70.2%
そ の 他	—		829,953		104.5%
合 計	—		31,152,543		97.4%

●コンテナ貨物通関額 ()内は前年対比

輸 出	191億2199万 (92.0%)
輸 入	187億1581万 (119.7%)

●コンテナ貨物通関本数 ()内は対前年比

輸 出	2,942TEU (82.3%)
輸 入	5,605TEU (95.5%)
合 計	8,547TEU (90.5%)

輸 入

品名	単位	今年累計		前年対比 累計%	
		数量	価格	数量	価格
ウッドチップ	MT	355,661	6,495,697	105.1%	118.5%
とうもろこし	MT	352,920	5,937,332	100.4%	104.5%
ニッケル鉱	MT	1,078,803	7,916,856	92.2%	95.1%
木 材	CM	30,513	853,970	63.6%	71.2%
亜 鉛 鉱	MT	61,520	5,152,149	95.4%	198.6%
大 豆 粕	MT	103,079	3,486,475	120.3%	133.8%
魚 介 類	MT	5,368	1,728,708	119.9%	78.7%
飼 料	MT	19,624	685,909	65.5%	81.4%
石 炭	MT	272,591	2,277,230	78.0%	87.0%
こ う り ゃ ん	MT	71,479	1,256,211	92.3%	98.7%
ウッドパルプ	MT	6,465	409,450	91.2%	103.9%
カ オ リ ン	MT	70,706	1,759,361	143.2%	181.0%
肥 料	MT	9,406	248,744	104.3%	115.6%
重 油 等	KL	0	0	全減	全減
コークス等	MT	49,308	1,158,571	98.8%	95.7%
鉛 鉱	MT	0	0		
金 属 製 品	MT	1,740	631,006	134.7%	112.3%
その他穀物	MT	2,988	47,112	38.9%	35.3%
糖 蜜	MT	2,072	36,734	89.4%	148.5%
一 般 機 器	MT	851	475,055	115.8%	146.5%
そ の 他	—		21,230,081		117.6%
合 計	—		61,786,651		112.9%

中国ビジネスセミナー・個別相談会のご案内

日本貿易振興機構 (JETRO)
青森貿易情報センター
TEL 017-734-2575
FAX 017-773-2877
〒030-0802 青森市本町1-2-15 青森本町第一生命ビル5階

この度、ジェトロ青森では青森県との共催により、中国専門の貿易・投資アドバイザーの白土茂雄氏をお招きし、中国ビジネスセミナー「委託生産のノウハウ」(仮題)および個別相談会を開催致します。中国との貿易取引や中国進出で不安な点、質問等ありましたら、是非この機会にご参加・ご相談頂きますよう、ご案内申し上げます。

1. セミナー

- テーマ：「委託生産のノウハウ」(仮題)
- 日時：8月29日(火) 13:00～16:00
- 会場：青森国際ホテル 3階 孔雀の間
〒030-0801 青森市新町1-6-18 / TEL: 017-722-4321

2. 個別相談会

- ◎八戸 (※1社あたり50分程度、先着4社まで)
- 日時：8月28日(月) 13:30～17:00
- 会場：八戸地域地場産業振興センター(ユートリー)5F 研修室
〒039-1102 八戸市一番町1-9-22 (※JR八戸駅横)
TEL: 0178-27-2227

◎青 森 (※1社あたり50分程度、先着3社まで)

- 日時：8月29日(火) 9:00～12:00
- 会場：青森国際ホテル 6階 牡丹の間

【講師・アドバイザー】

アジア・ロジスティック研究所

代表 (ジェトロ認定貿易アドバイザー) 白土 茂雄 氏

<略歴>1972年三井物産(株)入社。中国での物流事業開発、経営管理、営業推進に従事。2002年にアジア・ロジスティック・コンサルティング社を設立し独立。中国ビジネスに取り組む顧客を対象にビジネスニーズ、商品の特性、中国の貿易管理制度、物流テクノロジー、経済性を総合的に勘案した最適物流体制の構築を提案する。著書として『中国投資・会社設立ガイドブック』、『中国投資マーケティング戦略マップ』、『中国進出企業経営戦略ガイドブック』等がある。



輸入住宅の基礎知識

「輸入住宅」という言葉を聞いて、どんな住宅で、どういう特徴があるのか、すぐに思い浮かぶでしょうか？このコーナーでは、「輸入住宅」に関する基本的な情報をご紹介します。

輸入住宅の特徴

輸入住宅の主流である北米系・北欧系とも、豊かな森林資源を使った木造住宅で、特にカナダ・スウェーデン・フィンランドなどの厳寒な気候に対応するために、高い気密性と断熱性を備えています。

高気密ということは、隙間が少ないということです。輸入住宅の代表的な工法である、2×4（ツーバイフォー）工法と木質パネル工法は、ともに床・壁・天井それぞれをパネルで組み合わせる箱状の構造で、どちらも壁という“面”で家を構成する枠組壁工法に分類されます。柱や梁を組み合わせる軸組工法に比べて、より高気密にできる点が特徴です。更に、寒い地域で開発された住宅だけに、使用される断熱材の量も多く、窓には二重ガラスを標準的に使用することが多いなど、外気の影響を受けにくく、夏冬ともに効率のいい冷暖房を実現できます。

また、枠組壁工法は“面”で家を支えるため、地震や台風などで外部から力が加わった時も、力が分散してダメージが小さくて済む点が長所として挙げられます。ただし、大きな窓を設けると、耐力壁の面積が減り、十分な耐力性が保障されないこともあります。施工業者とよくご相談の上、窓の大きさや形を決めた方が良いでしょう。

気密性の高さは、他にも防音効果が高いなどの長所につながりますが、反面、日本のように高温多湿の気候では湿気がこもりやすいという心配があります。湿気がこもるとカビやダニの発生、結露などの原因になる他、建物自体の傷みにもつながりやすくなります。施工の際には、防湿シートの利用や、家全体の換気計画に気を配ることをお勧めします。



AIRA会員紹介

今回は株式会社テーオー小笠原様をご紹介します。

テーオー小笠原は、1950年に創業、函館を拠点として「快適な人間生活のための環境づくり」を経営理念とし、お客様の生活に密着した企業活動を目指してまいりました。

当社は、流通事業部、住宅事業部、木材事業部の3つを柱として、各部門が連携しながら地域の皆様に「衣食住」全ての面をご提供しております。

住宅事業部では、戸建住宅、マンション、都市開発等を展開し、各分野で健康に配慮した住環境づくりに取り組んでいます。外断熱にこだわり、使用する建材は健康を害さないものを厳選し、計画換気の採用や、揮発性有機化合物を排除した住まい作りへの取り組みを進めています。



株式会社テーオー小笠原 住宅事業部 東北支店

住所 〒030-0913 青森県青森市東道3丁目6-3

TEL/017-736-2000 FAX/017-736-3030

AIRA会員募集

AIRAでは輸入住宅を取扱っている、または今後取扱を希望している、住宅・建材関連企業の方々を募集しています。AIRA会員には以下のような特典があります。

1. ジェトロ推薦講師によるセミナーへ参加ができる。
2. 貿易センターの施設が優待料金にて使用できる。
3. 各種貿易相談を受けられる。
4. 輸入住宅および部材についての情報が受けられる。
5. 輸入住宅海外視察ミッション等への参加（自己負担あり）ができる。

AIRA:青森県輸入住宅促進協議会 事務局

〒039-1162 青森県八戸市豊洲3-9 (株)八戸港貿易センター内

Tel: 0178-72-1505 Fax: 0178-72-1503

<http://www.aira.ne.jp>

カタログ・資料をご希望の方はAIRA事務局へ。送料とも無料でお送りします。

■AIRA会員

会社名	連絡先住所	電話
丸喜株式会社齋藤組	青森市中央二丁目1-17	017-777-3329
株式会社ピアス	八戸市豊洲3-9 八戸港貿易センター4F	0178-72-1513
株式会社黄金工務店	青森市道道二丁目10-17	017-741-8451
株式会社ファーストインターナショナル	八戸市廿三日町2 YSビル3階	0178-71-2282
南部木材株式会社	八戸市吹上一丁目1-13	0178-45-4331

Aomori Import Residence Association

<住所は全て青森県内です>

会社名	連絡先住所	電話
株式会社角弘	青森市新町2-5-1	017-723-2222
株式会社鎌田建設工業	青森市浜館一丁目18-10	017-741-2063
グッドワークトレーディング有限公司	八戸市豊洲3-9 八戸港貿易センター2F	0178-72-1560
株式会社テーオー小笠原	青森市東道道三丁目6-3	017-736-2000
有限会社アメリカンスタンダードログホームズ	八戸市青葉三丁目2-25	0178-44-1011

Aomori Import Residence Association

コンテナ航路		船社名	集荷代理店	寄港間隔	主な寄港地
外航	東南アジア航路	PIL	八戸通運	1便/週	[寄港地] 台湾(基隆、高雄)、中国(香港)、韓国(釜山、光陽)、シンガポール [接続地] 東南アジア全域、豪州、欧州、南米、他
	中国・韓国航路	南星海運(株)	八戸港湾運送	2便/週	[寄港地] 韓国(釜山、光陽、蔚山)、中国(上海、青島、大連) [接続地] 中国、欧州、北米、南米、豪州、他
	北米航路	WSL	八戸港湾運送	1便/月	[寄港地] アメリカ(シアトル)、カナダ(バンクーバー)
内航	内航フィーダー航路	(株)横浜コンテナライン	八戸通運	1便/週	[寄港地] 横浜 [接続地] 世界各地
		井本商運(株)	八戸港湾運送	1便/週	[寄港地] 東京 [接続地] 世界各地

PIL: Pacific International Lines (Singapore) WSL: Westwood Shipping Lines (U.S.A)

主な寄港地～八戸港の所要日数(最短)

寄港地	所要日数(日)	
	輸出	輸入
釜山(韓国)	4	4
光陽(韓国)	5	10
蔚山(韓国)	5	8
基隆(台湾)	7	6
高雄(台湾)	8	7
香港(中国)	9	9
大連(中国)	6	8
青島(中国)	7	7
上海(中国)	7	7
天津(中国)	9	8
寧波(中国)	9	9
蛇口(中国)	11	13
シンガポール	14	14
ジャカルタ(インドネシア)	17	22
バンコク(タイ)	17	20
レムチャパン(タイ)	17	17
マニラ(フィリピン)	20	21
ホーチミン(ベトナム)	20	20
ロングビーチ(米国西岸)	16	18
シアトル(米国西岸)	21	13
チャールストン(米国東岸)	30	23
ニューヨーク(米国東岸)	29	22
バンクーバー(カナダ)	23	13
ブリスベン(オーストラリア)	25	17
オークランド(ニュージーランド)	25	26
サウサンプトン(イギリス)	29	35
ルアーブル(フランス)	30	35
ブレーメルハーフェン(ドイツ)	32	35
ロッテルダム(オランダ)	33	30

海上コンテナ輸送の御用命は「八戸港国際物流拠点化推進協議会」加盟の各社へ

八戸通運株式会社(海運営業所)	TEL: 0178-29-0202	FAX: 0178-20-3281
八戸港湾運送株式会社	TEL: 0178-29-3177	FAX: 0178-29-3119
新丸港運送株式会社	TEL: 0178-20-2321	FAX: 0178-20-2353
八戸運輸倉庫株式会社	TEL: 0178-28-2401	FAX: 0178-28-6976
三八五流通株式会社	TEL: 0178-52-7755	FAX: 0178-52-7751
日本通運株式会社八戸支店	TEL: 0178-27-3311	FAX: 0178-27-5520
ナラサキスタックス株式会社八戸支店	TEL: 0178-20-1651	FAX: 0178-20-2444
青森県・八戸市・八戸商工会議所・八戸港振興協会 株式会社青森銀行・株式会社みちのく銀行・八戸信用金庫		



八戸港貿易センターは、世界に開かれたみなと八戸港と私達に深く係わる貿易をもっとよく知っていただくために様々な活動を行っております。ここでは貿易に関する基本的なQ&Aをご紹介します。

Q 輸入するときに気をつけなければいけない法律は?

A 扱う商品によって注意しなければいけない法律は様々あります。法律によって輸入を制限・規制したり、別途手続きが必要だったり、輸入はできても国内で販売できない場合などもあります。一例として、以下のようなものが挙げられます。

商品	関係する法規制
毛皮、皮革製品	ワシントン条約、家庭用品品質表示法
楽器	ワシントン条約、電気用品安全法
ワイン等 酒類	酒税法、食品衛生法、計量法、容器リサイクル法
ハム、ソーセージ等食肉加工品	家畜伝染予防法、食品衛生法、JAS法
花の種、球根、ポプリ等	植物防疫法、種苗法、ワシントン条約
化粧品、医薬部外品等	薬事法、計量法
幼児のおもちゃ	食品衛生法、著作権法、商標法、意匠法

おもちゃは、幼児が口に入れる可能性があるため食品衛生法が適用されています。商品によっては、思いもよらない法律規制がある場合がありますので、事前に注意が必要です。

編集後記

八戸港の中国・韓国航路は、中国の経済発展を背景に著しい伸びを記録し、八戸港のコンテナ取扱量全体を牽引する基幹航路となっています。しかし、航路開設以来圧倒的な輸入超過の状態が続いており、輸出の増加が求められています。

近年、輸出品目として期待されているのが、りんごやイカ、鮭をはじめとする青森県の誇る豊富な農林水産物です。

本誌記事でもご紹介しました大連での「青森・大連懇談会」において、りんごを中心とした青森県産品のPRが行われ、好評を博したと聞きます。

県内産の農林水産物が、八戸港からたくさん輸出される日も近いかもしれません。



八戸港国際物流拠点化推進協議会 Hachinohe Port Promotion Commission

〒031-8686青森県八戸市内丸一丁目1-1 八戸市産業振興部産業政策課内
TEL:0178-43-2111(代表) FAX:0178-47-5687 e-mail: hppc@hi-net.ne.jp Homepage: www.hi-net.ne.jp/hppc

(株)八戸港貿易センター Hachinohe Port Trade Center Co., Ltd.

〒039-1162青森県八戸市豊洲3-9 八戸港貿易センター3階
TEL:0178-72-1505 FAX:0178-72-1503 e-mail: mail@hptc.co.jp Homepage: www.hptc.co.jp